

岡山県の教育



1 岡山県の教育の方向性

- ・岡山県の教育の方向性(教育振興基本計画＋夢育)……………p.3
- ・誰一人取り残されない岡山県の教育に向けて……………p.4

2 第4次岡山県教育振興基本計画策定の背景

- ・教育をめぐる社会情勢(1)～(4)……………p.6
- ・教育をめぐる社会情勢(5)……………p.7

3 岡山県の子どもの声

- ・子どもからの意見聴取の概要……………p.9
- ・岡山県の子どもの声（WEBアンケート）……………p.10
- ・岡山県の子どもの声（高校生の意見交換会）……………p.12

4 岡山県の子どもの現状

- ・岡山県の子どもの現状（1）～（4）……………p.13
- ・岡山県の子どもの現状（5）～（7）……………p.14

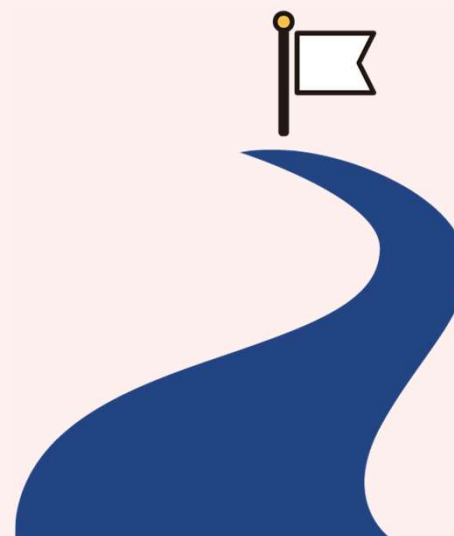
5 第4次岡山県教育振興基本計画の目標と方向性

- ・基本目標、育みたい資質能力……………p.16
- ・学ぶ力の育成、豊かな心・健やかな体の育成……………p.17
- ・多様な教育ニーズへの支援の充実、グローバル人材の育成……………p.18
- ・生涯学習環境の整備と文化・スポーツの振興、教育効果を高める基盤や体制の整備・充実策……………p.19

6 第4次岡山県教育振興基本計画 重点取組項目

- ・学ぶ力の育成、「チーム学校」による不登校児童生徒等への早期支援……………p.21
- ・グローバル人材の育成、学校における働き方改革の推進……………p.22

1 岡山県の教育の方向性



岡山県の教育の方向性(教育振興基本計画＋夢育)

教育振興基本計画とは？

地域の実情に応じ、当該地方公共団体における教育の振興のための施策に関する基本的な計画

第4次晴れの国おかやま生き生きプラン

『県政の最上位に位置付けられる総合的な計画』

これに基づく計画

岡山県教育大綱

『教育、学術及び文化の振興に関する
総合的な施策の大綱』

これを踏まえた策定

今回の
策定

第4次岡山県教育振興基本計画

本計画の策定に当たっては、社会情勢の変化、本県教育の現状と課題に鑑み、**生涯を通じて学びを継続できるよう、学校教育や社会教育、文化、スポーツなどの教育分野全般にわたっての具体的な取組や目標とする指標**を明らかにすることで、学校や家庭、地域、市町村と取組の方向を共有し、相互連携の下、着実に施策を推進します。



岡山県教育委員会では、子どもたちの学びの原動力である夢を育む教育「夢育」を推進しています。「夢育」では、子どもたちが、自分の中で「夢」を育みながら、それに挑戦していく経験を通して、「意欲」や「自信」などの「自分を高める力」を養います。

岡山県の教育の方向性

誰一人取り残されない
岡山県の教育に向けて

学校を誰もが通いたくなる魅力ある場所にする

子ども
真ん中



学校は自分たちで変えられる／

授業改善も働き方改革も、本来はもっとポジティブな取り組み

自立応援室（別室）

登校支援員
SC・SSW

特別支援学級等

子ども
わかる 楽しい できる



良いところに
気づかせ、発揮させ
自らの可能性に
気づくよう導く

教職員



文科省の
業務3分類に
基づく役割
分担のお願い

個別最適な学び・協働的な学びに基づく深い学び

教育の質の向上

- ・「みんな同じ」を過度に要求
- ・手厚すぎる指導・支援
- ・子どもが主体的に考え、判断する場が少ない
- ・「学校の常識」というバイアス

- ・学びを子どもに委ねる
- ・教師の伴走
- ・PBLや「夢育」により、子どもが自ら考え決定できる場を増やす
- ・1人1台端末の効果的活用
- ・「学校の常識」を問い直す

働き方改革

目指す子どもの姿の実現に、
真に必要な業務に精選

教師業務
アシスタント

外部人材配置
校務DX

学習基盤の整備（岡山型学習指導のスタンダード増補版の活用、基礎基本の定着）
全体の精度が上がるほど、子どもたちは安心して個性を発揮しやすくなる

コミュニティスクール・地域学校協働活動

遠隔授業
（家庭）

学びの
多様化学校

教育支援
センター

フリー
スクール

社会教育
施設

県総教育センター
メタバース

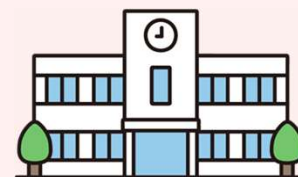
家庭
地域

働き方改革
不登校総合対策
周知・協力依頼

県
市町村
教委

2

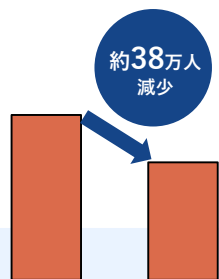
第4次岡山県教育振興 基本計画策定の背景



第4次岡山県教育振興基本計画策定の背景

教育をめぐる社会情勢

1 人口減少社会と人生100年時代の到来



リカレント教育



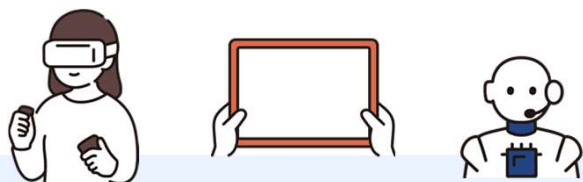
令和32(2050)年の総人口は約151万人と予測。
令和2(2020)年と比べて約38万人減少。

2 国際社会の動向



新型コロナやウクライナ侵攻など予測困難な危機に対応できる、強靱（レジリエント）な社会づくりが重要な課題となっている。

3 DX(デジタルトランスフォーメーション)の進展



コロナ禍を機に教育DXが進み、GIGAスクール構想でICT環境が整備された。
AIの発達により問題発見力の育成が重要となり、文科省は2023年に生成AI活用のガイドラインを示し、自ら考える力を育む教育を求めている。

4 社会の多様化の進展



共生社会の実現には、学校での社会的包摂の推進と、多様なニーズをもつ子どもへのきめ細かな支援が必要であり、大人も含め多様性を受け入れる寛容さが求められる。

第4次岡山県教育振興基本計画策定の背景

教育をめぐる社会情勢

5 国の動向

答申で示された内容

社会の在り方が劇的に変わる「Society5.0時代」
先行き不透明な「予測困難な時代」

自分の良さや
可能性を認識



あらゆる他者を
価値のある存在
として尊重

多様な人々と協働しながら
様々な社会的変化を乗り越え
豊かな人生を切り拓き



持続可能な社会
の創り手となる



令和3(2021)年1月に、中央教育審議会において、
「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して～全ての
子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、
協働的な学びの実現～」がとりまとめられた。

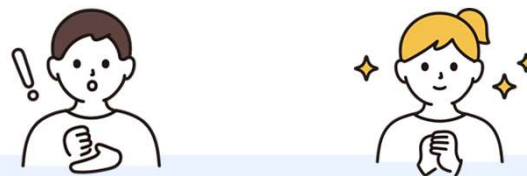
持続可能な
社会の創り手
の育成



日本社会に
根ざしたウェル
ビーイングの向上

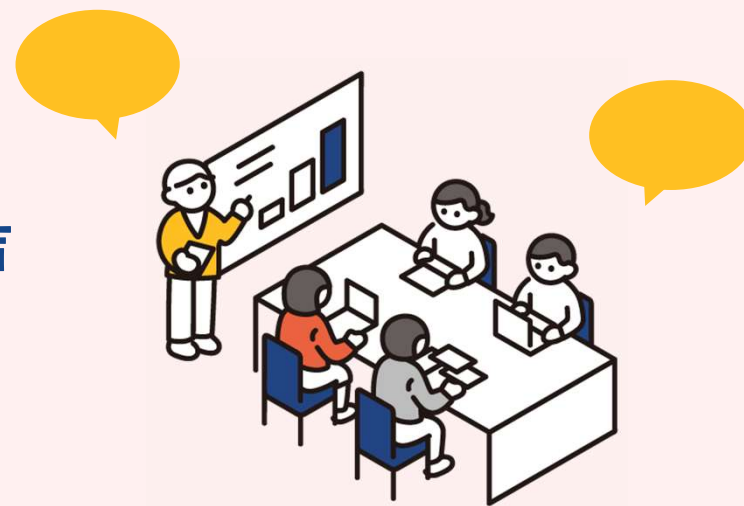
令和5(2023)年6月、第4期教育振興基本計画
が閣議決定され、今後の教育政策に関する基本
的な方針が示された。

全てのこども・若者が身体的・精神的・社会的に幸せな状態
(ウェルビーイング)で生活を送ることができる
こどもまんなか社会



令和5(2023)年12月には、こども基本法に基づ
く「こども大綱」が閣議決定。国や地方自治体
において、こども・若者の社会参画や意見反映
に向けた取組が必要である旨が示されている。

3 岡山県の子どもの声



岡山県の子どもの声

こどもからの意見聴取の概要

岡山県の子どもの声 (Webアンケート)

19,950件



県内の学校に通う小学校4年生から高校3年生までの児童生徒を対象に、令和6年8月から9月にかけて、Webアンケートを行いました。

高校生の意見交換会

県内の高校に通う高校生を公募

高校生
8名

意見交換会
2回

県教育委員会から次期計画、Webアンケート結果の説明

グループワークで次期計画において、充実させたいことなどを検討



岡山県の子どもの声(WEBアンケート) ※一部抜粋

問い

あなたにとって、誰もが通いたくなる魅力ある学校は、どんな学校ですか。



いじめがなく楽しく生活することができる学校



自分の興味があることを学習できる学校

問い

学校生活で、困っていることや直してほしいことは、どんなことですか。



課題や宿題が難しい、多い



校則が厳しい
変だと思
う校則がある

問い

理想の先生はどんな先生ですか。



ユーモアがあり、
おもしろい先生



小学校では「誰に対しても笑顔で明るく関わる先生」、その他の校種では、「授業で、必要な知識をしっかり教えてくれる先生」

問い

学校が今よりもっと良くなるために、先生や周りの大人に伝えたいことや提案をおしえてください。



一方的に教える授業ではなく、人と教えあったり、意見交換をしたりと、自分で体を動かす授業をするのが良いと思います。



いじめをせずに何かがあれば周りの友達や先生に相談に乗ったりすればもっと学校が良くなると思います。

岡山県の子どもの声(高校生の意見交換会) ※一部抜粋

次のような意見を、第2章「本県が目指す教育の姿」や、第3章「計画期間に取り組む施策の基本的方向」の記載に反映

総合的な探究の時間がもっとほしい！学校によって取組に違いがあるので、将来にも関わる大事な時間である総合的な探究の時間を県で統一して時間を増やしてほしい



悩みを抱えたときに、教師以外の信頼できる大人に相談等できるよう、それぞれの学校にスクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラーを常駐するようにしてほしい



中学生のときに不登校だったが、別室があることに救われた。学校に戻る選択肢として、別室をしっかり充実させてほしい



先生はとても忙しそう。少しでも辛さを軽減し、悪循環を断ち切るために、精神的なサポートが必要なのは？



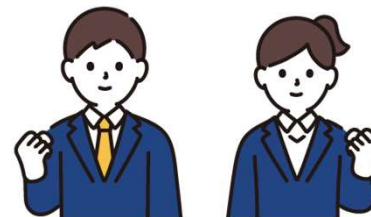
アクティブ・ラーニングなど子どもたちの学習に対する主体性を伸ばす授業づくりを進めてほしい



＼高校生の意見により、新たな目標指標が追加／

この意見を受けて、「『生徒が1人1台端末を活用して情報収集を行う活動をよく設定している』と回答した教職員の割合」を新たに目標指標として追加

1人1台端末の活用は、教えてくれる先生によって差が大きい。いまだにクラス全員のワークを集めて職員室に持って行っている先生もいる…教員のICT活用技術の向上に貢献する指標が必要では？



4 岡山県の子どもの現状



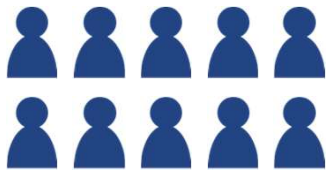
岡山県の子どもの現状

※岡山県 — 全国 —

1 学校数・在学者数の状況

小学校在学者数

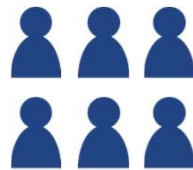
平成 2 (1990) 年



約63%に



令和 6 (2024) 年



学校数・在学者数は、少子化の進行に伴い、いずれも減少傾向

2 学力の状況

令和 6 (2024) 年度調査

小学校全国平均点

— 1 ポイント

66

(全国)



65

(当県)

中学校全国平均点

+ 1 ポイント

55

(全国)

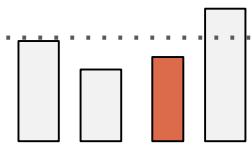


56

(当県)

3 問題行動・不登校の状況

1,000人当たりの 暴力行為の発生件数



未然防止に努めた結果、令和 3 (2021) 年度以降においては、**全国平均を下回っている。**

1,000人当たりの いじめの認知件数



全国と同様**増加傾向**。各校がいじめの定義を正しく理解し、いじめを**積極的に認知するなど、組織的対応が進んだため**と分析。

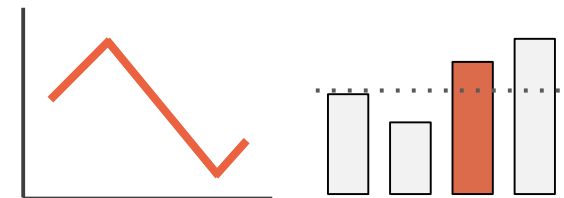
1,000人当たりの 不登校児童生徒数



全国と同様増加傾向も、**全国平均よりは低い状況**。高等学校においては、全国平均を上回っているものの、**全国との差は小さい。**

4 体力の状況

全国体力・運動能力、運動習慣等 調査体力合計点



男女ともにコロナ禍以前の水準に至っていないものの、これまでの**低下に歯止め**がかかり、**全国平均を上回っている。**

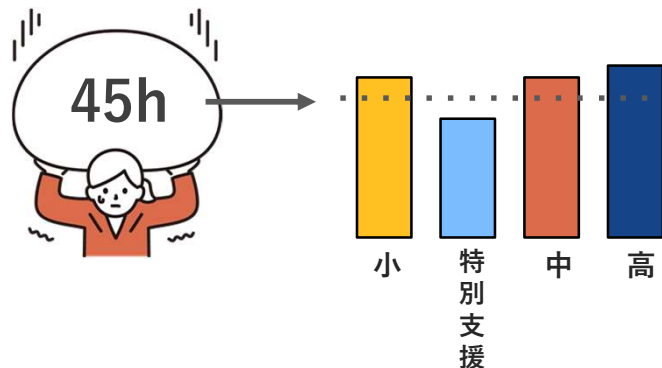
5 特別な支援を必要とする子どもの状況

将来を見通した進路指導や障害のある児童生徒と障害のない児童生徒が可能な限り共に学ぶことができるよう、適切な指導・支援を行うことが求められている



少子化により児童生徒数が減少している中であっても、本県における**特別支援学級、通級指導教室**に在籍する児童生徒数はいずれも増加傾向。

7 教職員の状況



いずれの校種で減少傾向も、**月45時間の上限を超えている教員は、依然として多い状況。**

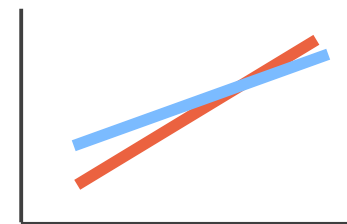
6 グローバル人材育成の状況

県立高校生の海外留学者数の推移

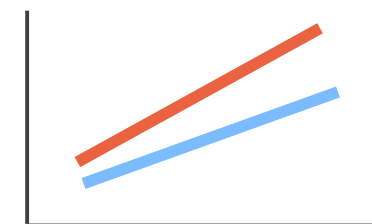


コロナ禍前の水準に戻りつつある。

中学校3年生で英検3級程度以上の英語力を有する生徒の割合の推移



高等学校3年生で英検準2級程度以上の英語力を有する生徒の割合の推移



上昇傾向かつ、**全国平均も上回っているものの、国の教育振興基本計画に掲げる目標には届いていない。**

5

第4次岡山県教育振興 基本計画の目標と方向性



基本目標

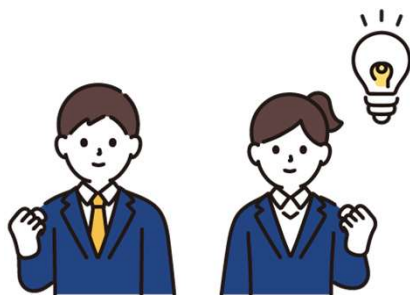
「夢に向かって、心豊かに、たくましく、未来を拓く」人材の育成

育みたい資質能力

本県教育に課せられた使命は、教育をめぐる社会情勢が変化する中で、子どもたちに自らの進路を切り拓く力を確実に身に付けさせるとともに、郷土岡山を愛し、より良い社会づくりに積極的に貢献する人間に育てることであり、その基盤となる学力や体力、規範意識や人間関係構築力に加え、意欲や自信、自己決定力や多様な他者を認めながら協力する力といった非認知能力を身に付けさせることが重要です。こうしたことを踏まえ、子どもたちに育みたい資質能力として次の3点を掲げ、施策を推進します。



確かな学力と自ら挑戦する
意欲や創造性



豊かな心・健やかな体



地域を大切にする心と
社会の形成者としての自覚



1.学ぶ力の育成

(1)教師の授業力の向上



(2)P B L の推進



(3)キャリア教育・職業教育の推進



(4)子どもたちの学ぶ力が伸びる仕組みづくり



(5)情報活用能力の育成



(6)就学前教育の質の向上



2.豊かな心・健やかな体の育成

(1)道徳教育の推進



(2)いじめや暴力行為等への対策の推進



(3)より良い社会づくりに参画する人材の育成



(4)子どもたちの体力の向上



(5)子どもたちの健康の保持増進



(6)人権教育の推進



3. 多様な教育ニーズへの支援の充実

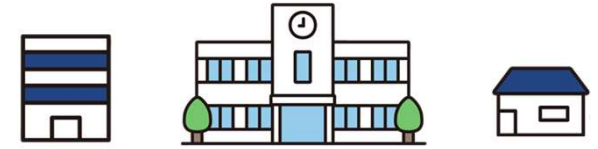
(1)「チーム学校」による
不登校児童生徒等への早期支援



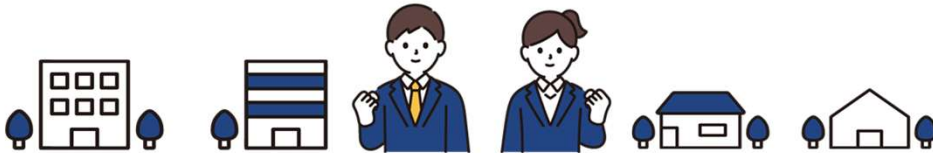
(2)不登校児童生徒等の
学びの場の確保



(3)地域と学校の協働の推進



(4)家庭・地域の教育力の向上



(5)特別支援教育の推進



4. グローバル人材の育成

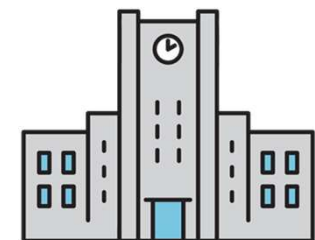
(1)国際的に活躍できる人材の育成



(2)探究・STEAM教育の推進



(3)高等教育機関における人材の育成

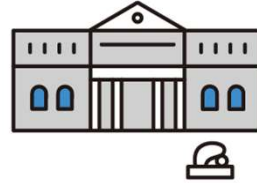


5.生涯学習環境の整備と文化・スポーツの振興

(1)生涯学習活動の推進



(2)文化創造活動の振興と文化財の保存・活用

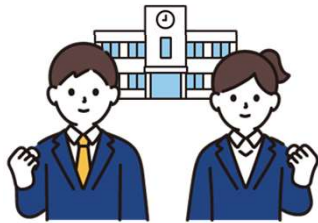


(3)生涯にわたってスポーツに親しめる環境づくりの推進



6.教育効果を高める基盤や体制の整備・充実

(1)活力ある小・中学校づくり



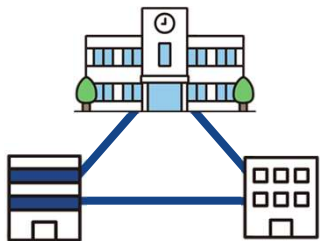
(2)高等学校段階における教育の充実



(3)特色ある私立学校教育の支援



(4)企業・地域団体等との連携



(5)子どもたちの安全の確保



(6)学校における働き方改革の推進

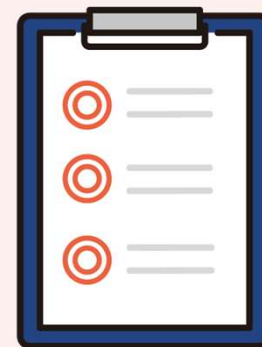


(7)魅力ある人材の確保・育成



6

第4次岡山県教育振興 基本計画重点取組項目



第4次岡山県教育振興基本計画 令和7年度重点取組項目

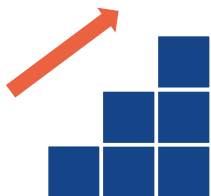
学ぶ力の育成



新規

研究校での生成AI・学習アシスタントアプリの活用による、家庭学習における個に応じた学びの支援。

- ・モデル校において生成AI・学習アシスタントアプリを活用し、生徒の家庭学習における個に応じた学びを支援
- ・家庭と学校の学びのサイクル実証



学力定着状況確認テスト、定着状況ステップアップの実施による学習内容の確実な定着。



「おかやま学びたい賞フォーラム」や「高校生夢育PBLフォーラム」等の、PBLの取組を発信し交流する場の提供。

「チーム学校」による不登校児童生徒等への早期支援



拡充

県立高校内の教育支援センター「MyPlace」を増設し、進学意欲のある不登校の中学生を支援。



拡充

スクールソーシャルワーカー（SSW）を増員し、「チーム学校」による早期支援を推進。



拡充

小中学校の自立応援室拡充・高校の自立応援室設置による不登校・長期欠席の未然防止と社会的自立への支援。

第4次岡山県教育振興基本計画 令和7年度重点取組項目

グローバル人材の育成



新規

英語AⅠ教材の活用と外国語指導助手（ALT）の増員による英語力向上の推進。



拡充

海外留学生の受入数を増加し、日常的に外国語でコミュニケーションをとる機会や多様な価値観に触れる機会の促進。



新規

STEAM教育研究推進委員会を設置し、文系・理系の枠を越えた学びであるSTEAM教育を一層推進。

学校における働き方改革の推進



新規

小学校新規採用者への非常勤講師の後補充を拡充し、勤務負担を軽減。



マネジメントに専念

非常勤講師
配置

新規

授業を担当する教頭の代わりに非常勤講師を配置し、教頭が学校全体のマネジメントに専念できる環境を整備。



本来の教育活動
に専念

部活動指導員
配置拡充

拡充

部活動指導員の配置拡充による、教員が本来の教育活動に専念できる環境を整備。

ようこそ晴れの国 おかやまへ



岡山県ホームページ

岡山県第4次教育振興基本計画

<https://www.pref.okayama.jp/site/16/700325.html>